

1. 調査研究概要

(1) 目 的

病児・病後児保育の実態と課題を明らかにし、人員配置等の提言や標準化マニュアル作成を行い、病児・病後児保育の質向上につなげることを目的とする。

(2) 実施主体

平成 2 5 年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）

「病児・病後児保育の実態把握と質向上に関する研究」班

(3) 対 象

平成 2 4 年度全国病児・病後児保育事業補助金交付施設（計 1604 施設）

病児対応型 557 施設、病後児対応型 540 施設、体調不良児対応型 507 施設

(4) 調査項目

【病児・病後児対応型】

調査項目	質問項目	
A. 基本情報	施設型	A1
	開始年	A2
	対象児童	A3:年齢、A4:定員、A5:エリア、A6:病児・病後児
	面積・部屋数	A7
	料金	A8:利用料、A9:キャンセル料
	開室日・時間帯	A10:開室日、A11:開室時間帯
	予約	A12:前日・当日、A13:予約方法、A14:昼食
B. H24 年度利用状況	利用状況	B15:延べ利用人数、B16:月別延べ利用人数・当日キャンセル数、B17:年齢別延べ利用人数、B18:来所・来室時間帯
C. 保育士・看護師等	職員状況	C19:職員状況、C20:職員配置、C21:スタッフ体制、C22:人手がかからない日の業務内容、C23:診察体制
D. H24 年度運営経費	運営経費	D24:運営経費、D25:初期経費
E. その他	研修	E26:有無、E27:主催機関、E28:内容、E29:必要性
	地域連携	E30:医療機関、E31:保育所、E32:他の病児・病後児保育施設
	課題	E33:十分にできていないこと、E34:課題
	自由記載	E35:病児・病後児保育の課題、E36: 子ども・子育て支援策、E37:病児・病後児保育現場での先駆的取組及び工夫

【体調不良児対応型】

調査項目	質問項目	
A. 基本情報	開始年	A1
	対象児童	A2:年齢、A3:定員
	対応スペース	A4
	開室日・時間帯	A5:開室日、A6:対応可能時間帯
B. H24 年度利用状況	利用状況	B7:発生数、B8:月別延べ発生数、B9:年齢別延べ発生数、
C. 看護師	看護師	C10:人数、C11:業務内容
D. H24 年度運営経費	運営経費	D12:運営経費
E. その他	研修	E13:有無、E14:主催機関、E15:内容、E16:必要性
	課題	E17:十分にできていないこと、E18:課題
	病児・病後児への参入意向	E19
	自由記載	E20:体調不良児対応型の課題、E21:子ども・子育て支援策、E22:現場での先駆的取組及び工夫

(5) 調査方法

対象者に依頼文及び調査票を個別に郵送

調査回答者が返信用封筒により、調査票を事務局に返送

(6) 調査期間

調査票送付日 平成 2 5 年 7 月 1 日

返信期限 平成 2 5 年 7 月 2 6 日

(7) 回収結果

調査票	病児・病後児対応型			体調不良児対応型	合計(+ +)
	病児対応型	病後児対応型	小計(+)		
発送数	557	540	1097	507	1604
回収数	363	360	723	359	1082
上記のうち全国病児保育協議会加盟施設	198	64	262	2	264
全国病児保育協議会加盟施設割合(%)	55%	18%	36%	0.6%	16%
回収率(%)	65%	67%	66%	71%	67%
無効票	1	5	6	5	11
有効票	362	355	717	354	1071
有効回答率(%)	65%	66%	65%	70%	67%